

議会だより おかがき

No.81 9月定例会 平成22年11月10日発行

議員定数3減の13に ● 2～3
(任期満了に伴う次期選挙から適用)

町政を問う ● 11～13
一般質問





議員定数3減の13に （任期満了に伴う次期選挙から適用）

第3回定例会は、9月3日から17日までの日程で開催され、11議案、発議3件、請願1件などについて審議しました。

●本議会で提出された議案のうち、主なものは、

- ①平成22年度岡垣町一般会計・国民健康保険事業特別会計・そのほか特別会計決算認定
- ②岡垣町固定資産評価審査委員会委員等の選任
- ③岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ④平成22年度岡垣町一般会

平成21年度 岡垣町各会計決算概要

(単位：円)

収入額	支出額	差引額
8,888,633,600	8,576,808,130	311,825,470
3,652,296,550	3,423,310,060	228,986,490
16,700,520	15,848,301	852,219
434,567,517	429,601,638	4,965,879
1,713,949	1,088,290	625,659
667,724,309	793,233,240	公営企業会計のため表示 できません
1,699,338,065	1,982,054,833	

公営企業会計のため、収益的、資本的な収入支出を合算して表示しています。

◎岡垣町財政健全化審査意見書

する数値は、全会計を連結した収支は前年度に引き続き大幅な黒字であり、数政状況を示す結果であり、各会計ともに是正改善を要する事項は「特になし」と書にあります。



計・国民健康保険事業特別会計補正予算

※採決の結果は10Pをご覧ください
下さい

平成22年度補正予算

■ 1億2878万円の追加補正

主な歳出

- 議会政務調査費の削減 ▲ 192万円
- サンリーアイ白あり駆除 252万円
- 緊急雇用創出事業 791万円
- プレミアム商品券発行補助 700万円
- 消防ポンプ操法県大会出場 179万円
- 吉木什王堂じきゅうおうどうの緊急発掘調査 266万円
- 災害復旧費 4065万円
- ※ 農業施設災害復旧工事 19ヶ所
- ※ 公共土木施設災害復旧工事 19ヶ所

平成21年度決算認定

■ 審査意見書からみる歳入の特徴

普通交付税及び臨時財政対策債の増加、国の経済対策関連交付金による国庫支出金の増加などにより、大幅な増となった。

しかし、景気低迷により町税収入は減少しており、自主財源比率は前年の51・4%から43・2%に大きく減少している。

■ 審査意見書からみる決算認定の特徴

5年ぶりに財政調整基金からの繰り入れを行わずに収支の均衡が図られた。

一方で、地方交付税をはじめとする依存財源の収入状況により、収支が大きく左右される状況にあるため、自主財源の確保を図るとともに、経常的経費のさらなる圧縮を進める必要がある。

計	一般	会計
計	国民健康保険	会計
計	老人保健	会計
計	後期高齢者医療	会計
計	住宅新築資金	会計
計	水道事業	会計
計	下水道事業	会計

※水道・下水道事業会計は、

岡垣町の財政健全化を判断値は算定されず、健全な財岡垣町監査委員の審査意見

人事

○ 岡垣町固定資産評価審査委員会委員

穴井 秀幸さん(緑ヶ丘区)

○ 人権擁護委員

石松 清美さん(上海老津区)

発議

発議

① 永住外国人地方参政権付与に関する意見書 賛成多数で採択

② 岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例 全会一致で可決

③ 岡垣町議会議員定数条例の一部を改正する条例 賛成多数で可決

岡垣町議会議員定数条例の一部を 改正する条例

議員定数3削減・決定

定数削減までの流れ

議長へ議員提案として提出

議会運営委員会開催

全員協議会開催

議会最終日 議案上程

・提案理由説明
・質疑
・討論

採決

賛成多数可決

「岡垣町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

提案理由 町長部局においては、行財政構造改革プログラム実行計画を策定し、行財政健全化を行っている。議会としても、住民の福祉の向上と地域社会の活力ある発展をめざして、具体的な政策の最終決定の迅速化や行財政運営の批判と監視を強化することが必要なことから、定数を削減し、議会としての機能を高めることを目的として、ここに提案するものである。

なお、この条例は、平成23年4月1日から施行し、次の一般選挙から適用する。

提出者 岡垣町議会議員 市 津 広 海

賛成者 岡垣町議会議員 木 原 信 次 同 三 角 善 彦
 石 井 要 祐 同 太 田 強
 竹 内 和 男 同 山 田 隆 一
 藤 崎 光 同 大 堂 圈 治
 横 山 貴 子

反対

西田 陽子 議員

日本国憲法第93条の議事機関としての議会を形骸化空洞化した、岡垣町議会史上汚点を残すものだ。10人の連名で出され、初めから結論が決まっております、審議無用である。しかも3人削減することでの議会の改革と活性化の理由は何一つ納得できるものはなかった。行政との二元代表制の下、定数削減は監視機能が手薄になり、議会無用論を招くと、町村議会活性化研究会の提言にある。また、課題の山積したまちづくりには一人でも多くの知恵や慧眼(けいがん)が要る。1600万円以上の削減になるとのことだが、それは16人の報酬や費用弁償等の削減でそれ以上の削減はできる。

平山 弘 議員

議会は住民から選挙で選ばれて、多種多様な住民意思を反映し、執行機関を批判し監視していく役割がある。このように、重要な役割を担う議会の議員定数を削減することは、憲法と地方自治法で保障された、民主主義制度を揺るがす大きな問題である。現在の急速な景気悪化、深刻なくらしや雇用破壊の中で、住民の多様な意見、行政への切実な要望も山積している。議会は、住民のくらしや福祉を守る役割を發揮する必要がある。議員定数を削減することは、住民と議会のパイプを細くするものであり、認めることは出来ない。

賛成

竹内 和男 議員

昭和32年に、8名削減し、議員定数を18名とした。その時点から、49年が経過した平成18年に、2名削減し、定数を16名とし、今回、3度目の削減で、定数を13名にするものである。岡垣町の人口は、昭和34年と昭和41年に減少した時期を除けば、人口増加は続いている。反面、国民健康保険制度では、今後も医療費の増加が見込まれる上、職員給与費等の減額や、下水道費の値上げがあり、議員自ら汗をかくべきであり、政務調査費の廃止や議員の削減を、住民の福祉に役立てて欲しい。

太田 強 議員



町は三役の給与、退職金の減額や職員の給料、期末手当、勤勉手当で減額。地域手当の廃止を行い、厳しい財政に身を削りました。議会も改革と活性化で「住民懇談会の開催」、「政務調査費の廃止」を行った。しかし景気低迷の中、住民の声は「議員は何をしているんだ」「活動が見えない」「議員も多すぎる」など厳しい意見が出ている。今や議員は自ら身を削っていかねば町民の信頼を得ることは出来ないところにきています。議会改革と活性化は議員にとつて永遠の課題であるが実行しなければ意味がない。まずはこの提案に自ら身を削って、厳しい中により切磋琢磨して議員力を学び、發揮する時と考える。

三角 善彦 議員



当時、遠賀郡4町合併に反対だった議員は、直接民主主義の手法である住民投票を推進していたことは、記憶に新しいところだ。議会の権能をさまざま主張されているが、どこに整合性があるのか。また、反対者が主張する、「執行部の自主財源の確保に向けた取り組みには反対である、その一方で住民サービスはもつと充実させよ」との論法は、手足をしばって泳げないもの(自主財源8・2%減)。

我々議員は、より質の高い住民サービスを目指して、財政の観点からも執行部に対案を示すべきだ。今回の定数3減は、現職議員の覚悟だ。

岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について

反対の ポイント

JR海老津駅南(仮称)海老津・白谷線基本計画は容認できない

住民福祉サービスを低下させた「構造改革」を見直すべきだ

反対

西田 陽子 議員

決算総額は85億7600万円。3億292万円の黒字であるが、町税は5470万円の減で依存財源の割合が大きくなっている。経常収支は昨年より改善されたものの、これは国の緊急雇用等の交付税が増えたためである。評価できる事業も多々あるが、JR海老津駅南側開発促進基本計画2千万円は認定できない。国の財政状況が悪化する中、20億円以上の事業費の後進につけを残さない財源根拠の説明責任が求められる。また256万円を負担している福祉協会の職員福利厚生事業会計の不透明さや近隣に比し突出した300万円を超える食糧費は問題である。

平山 弘 議員

町は「構造改革」で、老人憩いの家の入浴料を100円にしたため、利用者が激減した。いまだに減っている。重度心身障害者タクシー初乗り利用券を減らした。お年寄りや低所得者、障害者など社会的弱者と住民の負担を増やした。温かい心の欠如である。決算は黒字で、5000万円基金に繰り入れるように、町の財政は良好である。住民福祉サービスを低下させた「構造改革」は撤回もしくは見直すべきである。町長はさらに「選択と集中」という、民間企業の経営手法で、敬老祝い金など縮小する考えである。認められない。



山田小学校区



多くの町民でにぎわうまつり岡垣



賛成の ポイント

交付金を活用した業務遂行で、 安心・安全のまちづくりができた

賛成

大堂 圏治 議員

約89億円の予算額に対して約3億円の黒字決算となっているが、その内容には多くの要素が含まれている。

自主財源比率が約43%しかなく、国や県に大きく依存している体質には問題がある。少子高齢化の中で、国政の大きな変化と住民ニーズの多様・高度化は益々、進んでおり地方行政の舵取りは困難になっている。

限られた財源でいかに住民ニーズに適切に応えるためには、マンネリを打破し無駄削減を徹底し、選択と集中化を行い、一層の能率、高率化が求められる。

21年度の事業や財政運営を徹底的に検証し、次年度予算の編成に活かして欲しい。

太田 強 議員

大きく税収が落ち込む中、国の緊急経済対策交付金を活用して町道の補修や公共施設の改修、防災無線などの住民に身近な施設の整備。また地域住民の雇用促進、妊婦健診の公費負担回数増等迅速に取り組んでいる。

これら交付金の活用は、国、県に働きかけての予算獲得であり各課の業務遂行力と合わせてその業績は評価する。

特に本年度の決算において5年ぶりに財政調整基金からの繰入れを行わず収支の均衡を確保したこと。5千万円の基金の繰入れが出来たことは、厳しい財政の中に将来を見据えて事業執行がなされている。

木原 信次 議員



平成21年度の予算は、議会の議決を経て、着実にその目的に向って執行されたことが、決算審査で認められた。

米国で発生した金融危機に対応した、国の大型予算による地方交付税等により、決算は黒字になった。国の動向により町が左右されるのが現実である、岡垣町自身の力で健全な町づくりがなされることが必要である。

現在と将来の岡垣町を見据え、適切に自主財源の確保を成していかなければならない。海老津駅周辺の整備に関し、町の方向性と違う宣伝がなされることがあるので、町長は丁寧な町民に説明されることを求め賛成の討論とする。



吉木小学校区



海老津小学校区

永住外国人地方参政権付与についての 意見書提出に関する請願書

(要旨)

当請願の付託を受けた
総務常任委員会は、岡垣町
議会で平成6年に定住外
国人に対する地方選挙への
参政権に関する請願書を
採択した経緯も踏まえ、国
の動向を注視し、採決する
ことが、丁寧で望ましいと
の考えから、継続して審査
をしてまいりました。

参政権は、憲法15条1
項にも明記されているよう
に、国家と運命を共にする
国民に与えられた「固有の
権利」であり、国家の将来
に責任を取る義務を負う
国民に与えられた特別な
権利であるから、参政権の
付与については官民挙げて
の議論や国民の十分な理解
が不可欠なため、慎重に対
応していただきたい、外国
人に地方参政権を付与す
べきではない、との立場の
意見書です。

反対の ポイント

多文化共生社会を推進するため付与すべきだ 条件つき付与を認めるべきだ 国会において議論すべき問題

反対

横山 貴子 議員

我が国には、多くの外国人
が居住し、日本人とともに社
会生活を営んでいる。

公明党は、多文化共生社会
を推進する上で、永住外国人
地方参政権法案を1998年
に初提出以来、5度にわたっ
て国会に提案してきた。

その内容は、①外国人の本
国が同様の権利を与えている
相互主義を採用、②永住外国
人名簿への登録を条件とする
申請主義を採用、③条例の制
定や地方議会の解散、首長の
解散要求などの直接請求権は
含まないとしている。

国会において永住外国人へ
の地方参政権の法制化につい
て真摯に議論して頂きたいと
念願する。

平山 弘 議員

地方自治体と切り離せない
生活を送っている永住外国人
に、参政権を付与することは
地方自治法の精神からして必
要である。

地方参政権を付与すること
は、世界の趨勢であり、時代
の要請になっている。

平和を維持し、圧迫と偏狭
を地上から除去しようと努め
ている憲法の精神を具体化す
ることにもなる。

日本の植民地支配によって
一方的に「日本人」に組み入
れられ、戦後、一方的に「日
本国籍」を喪失させられたと
いう歴史的問題も有る。

最高裁でも「憲法上禁止さ
れているものではないと解す
る」との判決もある。

賛成のポイント

国益を失う恐れがあり慎重にすべきだ 選挙権と被選挙権は一体のものである

賛成

市津 広海 議員



日本に長く住んでいる外国人の意思を政治に反映させることは意義のあることであるが、最高裁判決にあるように、それは参政権以外の範囲に留まるべきのものであり、現在韓国との竹島問題、中国とは尖閣諸島の漁業権、領有権にまで問題が発生している、国民の一人として、国を守る、将来国益を失う恐れがあると、考えられるため、永住外国人の参政権付与に関しては、個人の尊厳を尊重しつつも、慎重にすべきだ。

下川路 勲 議員



請願書に対する賛成討論である。以前より竹島の領土問題から、最近では連日、テレビや新聞等で尖閣列島付近は、我が国の領土であると主張している国があり、その根底には資源確保や採掘権をからめて、一歩も譲らずと言う構えである。

今のこの時期、永住外国人に参政権を与えれば、近い将来日本の国境近くの、例えば沖縄や対馬は外国にのっちられてしまう様になるのではないかと心配するものである。

時期尚早であり参政権付与については、その必要性や緊急性も全くないので、この請願には賛成である。

木原 信次 議員

「日本に定住している外国籍の人にも、地方参政権を与えるべきである」という意見に対し、参政権は「国民固有の権利だ」と憲法で規定されており、外国人には与えるべきではない」との請願である。

最高裁判決では、「外国人に対して地方公共団体の長、その議員等の選挙権を保障したものではない」と述べている。他方、地方自治体が決定すれば、自治体の選挙において投票権を与えることまで制限していない。との意見もある。参政権は、選挙権と被選挙権は一体のものであるのが通説である。

外国人が県知事や市町村長に就任し、統治することは認められないと申し述べる。



内浦小学校区



戸切小学校区

議案ほか決議について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

議案・請願・陳情・発議 等 内容	採決日	結 果	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15
			市 津 広 海	木 原 信 次	久 保 田 秀 昭	三 角 善 彦	下 川 路 勲	石 井 要 祐	太 田 強	西 田 陽 子	竹 内 和 男	山 田 隆 一	平 山 弘	藤 崎 光	大 堂 圀 治	横 山 貴 子
岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	9月 3日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9月 3日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例	9月17日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町一般会計補正予算(第1号)	9月17日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	9月17日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9月17日	賛成多数 認定	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月17日	認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月17日	認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月17日	賛成多数 認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成21年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月17日	認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町水道事業会計決算認定について	9月17日	認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町下水道事業会計決算認定について	9月17日	賛成多数 認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
永住外国人地方参政権付与についての意見書提出に関する請願書	9月17日	賛成多数 採択	○	○	欠	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●
永住外国人地方参政権付与に関する意見書	9月17日	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●
岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例	9月17日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町議会議員定数条例の一部を改正する条例	9月17日	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○

※議席番号8は欠番です

町政を問う 一般質問

大堂 町営プールの建設を！

町長 財政状況が厳しく、考えていない



大堂 圖治 議員

認識していますが、建設費や多額の維持管理費がかかるので町営プールの建設は考えられません。民間事業者に担っていただくことが基本と考えています。

大堂 10月からの役場組織の改革で、課が減る中で健康づくり課が単独で設置される目的は何ですか。

町長 町民の健康づくりの重要さが求められ、新しい計画に沿って実行していくためです。

大堂 町内にあった民間経営のプールが休業し、利用者が大変困っている状態にあるが知っていますか。

町長 状態については承知しています。

大堂 プール利用による運動効果は大きく、健康づくりに大きな役割を果たしており、ひいては医療費の節減も期待出来るのではないですか。



こわいよ～

大堂 ATL(成人T細胞白血病)は、母子感染が主な経路となっており、妊婦に大きな不安を与えています。町の対応策はどうなっていますか。

町長 母子手帳配布時などに説明を行っています。さらに、町のホームページに啓発記事を掲載するなど啓発活動を行っています。

大堂 妊婦抗体検査費用を町が負担する考えはないですか。
町長 23年度から公費による助成を行い積極的に感染予防対策に取り組んでいきます。
大堂 高齢者や障害者を災害から守る避難計画の策定を国

横山 任意接種ワクチンへの公費助成を

町長 子宮頸がんワクチンへ公費助成を実施



横山 貴子 議員

は求めているが、町としてはどのように対応していくつもりですか。
町長 地域での防災体制整備等の進捗を見ながら全体計画を策定し、その後に個別計画を策定していきます。

がんのワクチン接種に対し公費の助成を実施し、積極的に子宮頸がん対策に取り組んでいきます。
○緊急時における高齢者世帯の見守りについて

横山 町の高齢化率は25・6%です。国の上昇率より早いペースで高齢化が進んでいます。緊急時の高齢者世帯への見守り、町の現在の施策と今後の課題を伺います。

町長 緊急通報装置の設置、高齢者相談センターの運営や小地域福祉ネットワークの推進、支援など高齢者を地域で見守るための支援体制づくり



岡垣にも安心キットを

を進めています。地域においても自治区活動や福祉サロン活動等、高齢者の、地域とのつながりを大切にする活動も取組まれています。

横山 緊急の時の備えとして、持病やかかりつけ医、緊急連絡先等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管しておく、「緊急医療情報キット」の配布の考えはないですか。

町長 既に実施をしている自治体の事例の調査を行い、効果や課題を見極めた上で判断していきます。今後も、関係機関との連携を更に深め、地域力とあわせ、安全安心の街づくりを取組んでいきます。

竹内

妊婦へのインフルエンザの無料接種の継続を!!

町長

予防接種は、町単独で助成を継続する



竹内 和男 議員

竹内 インフルエンザワクチンが新型と季節性の混合ワクチンとなる。引き続き妊婦への無料接種を継続させるべきではないでしょうか？

町長 10月からは、季節性と新型が同時に1回の接種で済みます。国の制度と同様の低所得者への助成を行います。

妊婦の予防接種についても、町単独での助成を継続します。

竹内

校庭の芝生化の促進を!

町長

調査・研究を進める

竹内 学校校庭の芝生化を促進すべきですが、見解を。

町長 岡垣町としても、校庭

の芝生化に取り組む方向で検討しますが、地域の皆さんの協力が不可欠なので、一緒になって視察等を含め調査、研究を進めていきます。

竹内

電子(デジジ)教科書の活用を!

教育長

状況的に必要なら検討したい

竹内 パソコンで文書を表示、



あ〜ん。おくちをあけて

音声化できる電子(デジジ)教科書を採用し、発達障がい児の「読み」を支援できないでしょうか。

教育長 岡垣町が採用する教

西田

住民が納得する職員福利厚生を

町長

法に基づき実施していきます



西田 陽子 議員

西田 職員の福利厚生は公開して住民の納得いくものになさないと総務省の通達にありますが、岡垣町は公開度が低いのではないですか。

町長 広報やホームページで公開しています。

西田 福祉協会からの慶弔費や育児休業援助金の給付内容は公開されていません。福祉協会には、半分以上の公費が投入されているのではないですか。

科書に対応できているのか、など課題もあるが、状況的に必要があれば、利点も活用すべきで、学校にも紹介をしたいと思っています。

町長 福祉協会への公費負担は今年から廃止し、職員の負担のみで加入しています。

西田 福祉協会へは、職員の掛け金のみで加入していますが、非公開が進み、透明性を欠くのではないですか。

町長 現在は福祉協会に対して公費が投入されておらず、町とは直接関わりのない団体です。このことから、町が福祉協会の制度について情報公開を行う必要はないし、公開できません。

西田 福祉協会の給付事業は、神戸で所得税法違反の判決がでており、問題ではないですか。また、他市町村では福祉協会の脱会を検討しています。

町長 判決は過去のものであり、現在、町とは直接関係のない団体です。他市町村のことについてはコメントできません。



西田 互助会は440万円の補助金を受け、旅行や送別会に使われています。他にも健康診断や共済費にも支出されており、住民が納得する福利厚生事業に見直すべきです。

町長 互助会も改善すべき部分は改善しています。今後も法に基づき、事業者の責任として、職員の元氣回復と健康増進につながる事業を効率的、効果的に実施していきます。

平山

町民の理解と、財政は大丈夫か

町長

単年度における町の大きな財政負担はない



平山 弘 議員

平山 JR海老津駅南側道路等整備計画の該当地域は居住地としては利便性が高いところ。

町がどうしても、いうのであればという気持ちでしょう。

糠塚・黒山地域も下流域の整備が先ではないか、それを考えない事業なら反対すると言われています。

町長 そういう話も聞いていますので、国・県とも協議して根本的解決をしていきます。

必ずしも全町民が諸手を挙げて賛成とはならないと思いますが、財政の裏づけと地元の同意の見通しを含めて、住民の皆さんに説明をしていきます。

平山 20億円の事業費という



が、それぞれの事業費は。

町長 調査設計委託料も入れて約21億5000万円です。

内訳は道路12億6000万円、広場3億円、地下通路5億9000万円です。

平山 大きな事業費ですが、事業費を抑えていくべきではないですか。財源の内訳はどうなっていますか。

町長 おおよそですが国の補助金10億8000万円、地方債

8億円、町の財源2億7000万円と想定しています。

起債の2/3は地方交付税措置の対象とされますので、町の負担は大きくはなりません。

平山 そういわれるが2/3の交付税措置も6割は町の負担になるのではないですか。財政面でも考えていくべきです。

町長 いろんな考え方がありと思います。

もちろんムダな投資は避けねばなりません。町の将来のことを考えれば禍根を残してはならないと考えています。

道路や駅南側広場などは、将来の開発促進と財政面を勘案した上で適切な規模となるよう計画しています。

意見交換会の開催

文教厚生常任委員会は7月30日にいこいの里において民生・児童委員協議会と意見交換会を行いました。ボランティアの精神で地域福祉を支えてくれる活動の現状や課題について説明を受けました。この内容を福祉政策に反映できるようさらなる調査研究を行っていきます。



民生・児童委員との意見交換会(文教厚生常任委員会)

委員会（現地視察）の開催

経済建設常任委員会では9月8日に7月豪雨による被災地の一つである戸切地区の民家裏山の土砂崩れの現地視察を行いました。

7月13日から大雨が降り続く中、7月14日の15時に戸切区内で土砂崩れの危険性がある事から町長指示により5世帯に避難勧告が発令され、避難されました。

その内の一民家の裏山の土砂崩れの現況を目のあたりにし、避難家族の恐怖心を感じると共に数人がかりでの大きな土のうを見ると作業された消防団員や町内の建設組合員の方々には感謝で頭の下がる思いの視察でした。

※6月には「荒廃森林」について現地視察を行っています。



上戸切斜面崩落現場



議員もまつり岡垣に参加



災害現場を視察する経済建設常任委員

どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

12月6日(月)
開会の予定

議会事務局職員が
替わりました

◆ 事務局長 高山 昌文
◆ 係長 神屋 聖子
◆ 書記 渡辺祐佳里



渡辺さん 高山さん 神屋さん

平成22年10月1日の人事異動に伴い、高山哲郎事務局長が生涯学習課へ異動し、新たに高山昌文事務局長を迎えることとなりました。
議会事務局は、議会に関するすべての事務を行います。議会の機能を十分に発揮できるように奮闘を期待します。

掲載写真のデータをお分けします。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。(282-1211)

編集後記

「議会だより」の編集に関わりだして早4年目になりました。毎号、委員全員で住民の皆様に読まれ、親しんで頂けるよう、試行錯誤しながら編集しています。

表紙は皆様の眼を引き付けられたらと78号より全面リニューアルしました。お気づきですか？中も少しずつですが創意工夫しながら構成をしています。皆様の評価を気にするところです。

今後も議会の審議・活動状況を公平に、正確に発信することを心がけ企画・編集に努めてまいります。

発行責任者

議長 曾宮 良壽

議会広報特別委員会

委員長 横山 貴子

副委員長 三角 善彦

委員 市津 広海

委員 下川路 勲

委員 竹内 和男

委員 山田 隆一